

2018年9月5日

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成30年度 第4回理事会 報告

日時:2018(平成30)年9月5日(水) 15:00~17:30

会場:東京ドームホテル

【報告内容】

1. JBA 組織体制の見直しについて
2. 2019年度 JBA 主催競技について
3. ウインターカップ 2019~の出場 60 チーム選出方法について
4. 2018年 FIBA 新ルールについて(審判関係)
5. 2018年 FIBA 新ルールについて(競技運営関係)
6. その他、報告事項

以上

1. JBA 組織体制の見直しについて

(1) 事務総長の職務見直しについて

＜目的＞

健全な組織運営と持続的発展のために、NF 責任者としての役割を「会長」と「事務総長」に分離し、明確化する

【会長】 公的代表者で経営責任者、事務総長の監督者

【事務総長】 業務執行最高責任者、協会の職員

※経営責任と執行責任を明確にするべく、本件後の事務総長は役員を兼務しない。

＜見直しの根拠＞

- ① 監督と執行の分離(コーポレートガバナンスコード 基本原則(4)の適用)
- ② スポーツ団体におけるグローバルスタンダード(標準的体制)の導入
- ③ FIBA NF マニュアルへの準拠

(2) 専務理事の選定について

上記(1)による田中専務理事の理事退任に伴い、新たな専務理事として、大河副会長が専務理事を兼務することが決議された。

(3) 基本規程・関連規程の一部改定

事務総長の役割明確化に伴い、関連する基本規程および各種規程・規定規程を改定した。

◆改定後の規定は、JBA 公式サイト「各種規程」ページにてご確認できます。

URL: <http://www.japanbasketball.jp/jba/kitei>

(4) B.コーポレーション株式会社の設立について

JBS(JAPAN BASKETBALL STANDARD)の確行と、他競技団体に先駆けて先進的且つ革新的なスポーツ団体に進化するため、NF・リーグといった主要統括団体間の“壁”をなくす仕組みを作り、ALL BASKETBALL で人材育成に取り組む。



〈設立概要〉

社名： B.コーポレーション株式会社 (※)

※正式な会社名は商標登録調査中のため未確定

設立日： 2019年1月1日

- 原則として、JBA・BLG・BMK・B3の全職員(無期雇用者=いわゆる正職員)は各団体を退職して B.コーポレーションに移籍、各団体へ出向する形態とする…柔軟なジョブローテーションの実現
- 現在 JBA・BLG が行っている公益事業は全て、引続き JBA・BLG が所管する。
また、各団体の役員、委員会はそれぞれ現団体に属する(現状不変)…公益認定は不変
- HC、専任スタッフ、技術委員長・委員、事務総長等、固有の職責者(主として有期雇用)や、嘱託職員、派遣社員、業務委託社員等は B.コーポレーションに転籍しない
- 本件を機に人事体系(コース・資格等)を整備、横断的な制度設計を行い、スペシャリストとゼネラリストの明確化、棲み分けを行う…人事管理の統一化、採用の一本化
- 各団体にあるアドミニストレーション(総務・人事・経理業務)は B.コーポレーションに集約し、スケールメリットとノウハウの蓄積を目指す…コストセンターの収益化
- 現在 JBA と BLG でそれぞれ 47.5% 出資している BMK が事業分割を行い、本体業務を持って新 BMK を設立し(会社分割)、現 BMK が商標変更して B.コーポレーションになる
- B.コーポレーションの株主は JBA、BLG、B3 でスタートし、JBA の出資先を変更する(BMK → BCP。また、BCP に対する JBA の出資比率は現状の 47.5% のままで追加出資なし)

2. 2019 年度 JBA 主催競技について

JBA 基本規程 第131条「国内競技会の主催」に基づき、「2019 年度 JBA 主催競技会」について、決議を行ない、承認された。

ただし、日程・会場・要項等について確認が必要な大会については、一部、未承認とされ、今後も引き続き調整を行ったうえで、随時承認することとなった。

◆2019 年度の主要競技大会の日程については、JBA 公式サイトにてご確認ください。

URL: <http://www.japanbasketball.jp/tournament/schedule/2019>

3. ウインターカップ 2019/2020 (2 年間)の出場チーム選出方法について

平成 26 年度 12 月開催の臨時理事会に承認された 2019 年度、2020 年度のウインターカップ出場チームの男女各 60 チームへの増加(現状男女各 50 チーム)について、60 チームの選出方法が決議され、以下のとおり、承認された。

【従来方法】 参加チーム数:男女各 50 チーム (計 100 チーム)

- (1) 各都道府県は男女各 1 チームの代表チームを選出(47 チーム)
- (2) 実施委員会は当年度インターハイ優勝および準優勝の男女各 2 チームを推薦(2 チーム)
- (3) 開催地は上記の他に男女各 1 チームを推薦(1 チーム)

⇒ 上記(1)～(3)合計 50 チーム×男女=100 チーム



【2019/2020 年度(2 大会限定)】 参加チーム数:男女各 60 チーム (計 120 チーム)

- (1) 各都道府県から男女各 1 チームの代表チームを選出(計 47 チーム)
- (2) 当年度インターハイ男女「優勝・準優勝」の男女各 2 チームを推薦(計 2 チーム)
- (3) **全国 9 ブロックにおける各ブロック大会優勝の都道府県から男女各 1 チームを推薦。
関東ブロックは、プラス準優勝の当該都道府県から男女1チームを推薦(計 10 チーム)**
- (4) 開催地枠として開催都道府県から男女各1チームを推薦(1チーム)

⇒上記(1)～(4)合計 60 チーム×男女=120 チーム

4. 2018 年 FIBA 新ルールについて(審判関係)

2018 年 7 月 11 日開催の第 3 回理事会において報告された「2018FIBA 新ルールサマリー (20180618 速報版)」の国内適用について決議され、以下のとおり適用されることが決定した。

【主な変更点】

- ①P(ピリオド) → Q(クォーター) (変更点1)
- ②競技規則に関する事項(変更点 3、4、5、6、7、8、9、10、11、12)
- ③ユニフォーム(身に付けるもの)に関する事項(変更点2)
- ④競技(順位決定方式)に関する事項(変更点 13)
- ⑤施設用具に関する事項(変更点 14)

【決議内容】

新ルール(適用時期)について

- ・上記①②について
 - トップリーグ(B1～3および Wリーグ)は 2018-19 シーズンから適用 (※アーリーカップ含む)
 - 天皇杯・皇后杯は 2 次ラウンドから適用
- ・①のみについて
 - JBA 主催大会であるウインターカップ、ジュニアオールスターは今年度から適用
- ・すべてのカテゴリー、大会における適用は、2019 年 4 月 1 日からとする。

〈その他特記事項〉

- FIBA 主催大会での適用開始は 2018 年 10 月 1 日。
- スコアシートについて(2019 年度から新様式に変更予定)
今年度内は全ての大会において旧スコアシートを使用し、2019 年 4 月 1 日より、新スコアシートへの変更を予定。
なお、様式変更(抗議欄有り等)および適用時期については、ルールブック改正に合わせ 12 月理事会に提案予定。

5. 2018 年 FIBA 新ルールについて(競技運営関係)

2018 年の FIBA 新ルール施行に伴う対応として、以下のとおり、関連規則の改定と施行時期の決定を行った。

1. ユニフォーム規則の改定
2. 「2108～バスケットボール規則 第4条4-4 その他の身につけるもの」に関するルール変更
および解釈
3. 上記2の施行時期

※国内での施行日については、2018 年 10 月 1 日からとする。

ただし、2020 年 3 月 31 日までは大会主催者の考えにより、「2015～バスケットボール競技規則」の内容でも施行することができるものとする。

※ユニフォーム規則等の詳細は、JBA 公式サイト「各種規程」ページにてご覧になれます。

URL: <http://www.japanbasketball.jp/jba/kitei>

6. その他、報告事項

(1) 2018 年度功労表彰について

「基本規程」の「第 9 章 表彰」の規定に基づき、2018 年度の功労表彰を実施することを決定した。

・今後のスケジュール(予定)

①9 月中旬:

各団体(都道府県協会、各種連盟)に対し、表彰候補者の推薦を依頼

②9 月中旬～10 月 25 日(木):

各団体より候補者を推薦

③11 月 7 日(水):

理事会にて推薦候補者を(JBA の推薦候補者も含めて)審査、表彰対象者を決定

④2019 年 1 月 12 日(土)または 13 日(日):

天皇杯・皇后杯会場(別室)または別会場にて表彰式を実施予定

※功労表彰者は同日開催の天皇杯・皇后杯の観戦にご招待予定

以上